



ふれあひ西本郷小

令和 3 年度
5月号

横浜市立西本郷小学校 学校だより

令和3年4月30日(金)

一人ひとりがかがやき、みとめ合い、つたえ合い、たかめ合う西本郷小の子

キャッチフレーズ:あいさついっぱい みんながえがお 西本小

創立65周年 と ふるさと意識

副校長 加藤 純

令和3年度がスタートして1か月が経ちました。4月20日より「まん延防止等重点措置」が適用され、再び新型コロナウイルスの感染拡大防止の対策を講じながらの生活を強いられることになりました。早く終息の見込みが立ち、子どもたちの豊かな教育活動が戻ってくることを期待したいです。

さて、改めて、4月に副校長として着任いたしました加藤 純です。どうぞよろしくお願いたします。わたしは栄区の小学校に今回初めて着任したので、栄区や西本郷小学校周辺のまちの歴史について調べてみました。

まず「栄区」は1986年(昭和61年)戸塚区から分区して誕生した区であり、区名の「栄区」は公募により未来に向けて大きく栄えていくことを込められ決定されました。この地域の歴史は古くて縄文時代までさかのぼることができ、地理的に鎌倉に近いことから鎌倉とゆかりの深い地域でした。区の中央には「いたち川」が流れ、『吾妻鑑』にも記述が見られます。また『徒然草』で有名な兼好法師が訪れ、「いたち川」にちなんだ和歌が残されていることも分かりました。

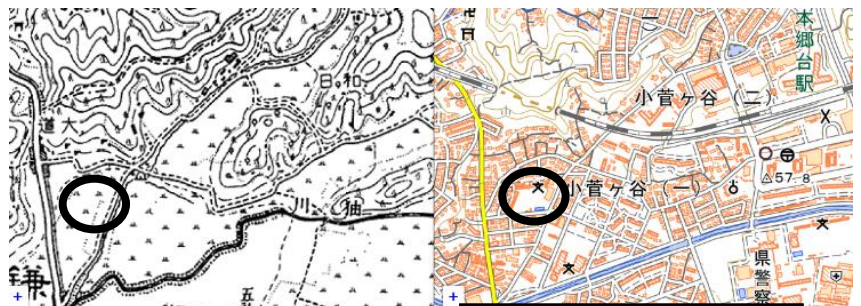
次に、西本郷小学校周辺で調べてみたところ、学校の正門前の道路は鎌倉時代の古道、鎌倉中道であり、約800年前から主要な道として人々が往来していた重要な道路だということが分かりました。また学区には「七石山横穴墓群」があり、古墳時代末期から奈良時代にかけての遺跡であることや、「笠間中央公園遺跡」は2000年以上前から人間の営みがあったことを裏付ける遺跡であることが分かりました。「小菅ヶ谷町」の名は鎌倉幕府三代執権、北条泰時の娘「小菅谷殿」の呼び名や館跡があったことに由来するそうです。

このように古代から人々の営みがあり、鎌倉幕府につながる史跡が残り、昔から交通の要衝であった西本郷小のまち。この歴史豊かな地域にある西本郷小学校は今年度で創立65周年を迎えます。栄区の歴史というキーワードをきっかけに調べただけで、これだけの歴史が分かりました。他のキーワード(例えば、いたち川や寺社など)で調べるともっといろいろな事実が分かるかもしれません。

西本郷小学校に通う子どもたちはあいさつがしっかりでき、コロナ感染防止策でマスク着用や無言で給食を食べるなど制限のかかった学校生活を送っていますが、欠席者数も少なく元気いっぱいです。この子どもたちに地域やまちの歴史を伝えていくのは、大人の努めだと思います。

子どもたちが『ふるさと』意識を高めるためには学校をはじめ、保護者・地域の方々とともに協力し合っていくことが不可欠です。西本郷小学校の創立65周年の機会が良いきっかけとなると思います。

「西本郷」のまちに愛着をもち、「西本郷小学校」出身ということに誇りのもてる地域・学校をこれからもめざしていきたいと思っています。どうぞよろしくお願いたします。



明治36年の地図

現在の地図

子どもや学校の様子を、学校ホームページでお伝えしています。西本郷小学校ホームページの「校長室より」をクリックしてください。よろしくお願いたします。

<https://www.edu.city.yokohama.lg.jp/school/es/nishihongo/index.cfm/1,0,53.html>